右手にライセンス、左手に生きる力

人間総合科学大学　広報誌

人間科学部　心身健康科学科・健康栄養学科・ヘルスフードサイエンス学科

2025.4

vol.5

UHAS press.

ユーハス プレス

University of Human Arts and Sciences



特集

人間科学部の教育と研究。

contents

01　地域連携 NEWS
03　人間科学部 心身健康科学科
05　人間科学部 健康栄養学科
07　人間科学部 ヘルスフードサイエンス学科
09　先生の研究紹介

学校法人早稲田医療学園

人間総合科学大学

ヘルスフードサイエンス学科 × さいたま商工会議所 × 会員事業所

産学官連携でさいたま市農産物を使用した地産地消のメニューを共同開発



人間科学部ヘルスフードサイエンス学科がさいたま商工会議所及びさいたま市内飲食・小売店との産官学連携により「埼玉の野菜紹介」「おいしい健康食」をキーワードにメニュー開発を行いました。各店舗にて、2025年 2月初旬から 3月下旬にかけて期間限定にて提供しました。



埼玉の西洋野菜を使用した特製ピザです。トッピングされたヨーロッパ野菜と和風ソースのマリアージュが好評でした。



地産地消を意識した埼玉県産の野菜をふんだんに盛り込んだプレートメニューです。鶏モモ肉のクリーム煮が美味しいと大人気でした。

ヘルスフードサイエンス学科では、これまでも地元企業や地域とタイアップしたメニューや商品の開発を行ってきました。コラボレーションはさいたま商工会議所の呼びかけにより実現したもので、日頃から食品学や栄養学を学ぶ学生ならではのアイデアと地元飲食・小売店 2 店舗の技術・経験をもとに約 6 ヵ月の期間を経て共同開発されました。さいたま商工会議所の地元食材の魅力を引き出す取り組みと、ヘルスフードサイエンス学科の「分子調理学」の授業で学んだ科学的な根拠に基づく調理法やおいしさの追求で、市民の健康と地域のつながりを意識した体にも心にも嬉しい健康食を目指しました。

令和6年度「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業メニュー1に選定されました

このたび、人間総合科学大学は、文部科学省および日本私立学校振興・共済事業団が実施する令和6年度「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業のメニュー1「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」の対象校に選定されました。全国からの申請111校のうち、採択された45校（大学32校、短期大学13校）の一つに本学が選ばれました。また埼玉県では唯一、東京を含む関東では5校のうちの一つとなりました。

この事業は、少子化時代における私立大学等の持続可能な経営と教育の質の向上を目的に、地域社会や未来を見据えた人材育成を支援するものです。本学では人間科学部3学科の構造転換をテーマに、「サステナブルで健康的な食エコ実践プログラム」「ジェネレーショナル・ヘルスサイエンス教育プログラム」を事業名に掲げ、社会の求める人材育成に取り組んでまいります。

「サステナブルで健康的な食エコ実践プログラム」

人間の総合理解と、心身と環境の相関性を基盤とし、食環境・健康・おいしさを統合し、食ビジネスとSDGs社会の中でエコシステムを推進する人材を育成します。社会・地域のニーズに合致した食・栄養に特化し実践力を養います。

「ジェネレーショナル・ヘルスサイエンス教育プログラム」

心身健康科学を基盤とし、心身ともに健康で豊かに暮らせる社会構築の支援や社会貢献を推進する世代ごとの特徴を活かした人材を養成します。次世代支援世代（シニア）／キャリア志向世代（働き盛り）／未来対応型世代（Z世代）の各世代に特化した教育プログラムを展開します。

高大連携協定を締結



2024年12月3日、埼玉県立蓮田松韻高等学校と学校法人早稲田医療学園人間総合科学大学は、高大連携に関する協定を締結いたしました。



2025年1月21日佐藤学園ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校と学校法人早稲田医療学園人間総合科学大学は、高大連携に関する協定を締結いたしました。

食品ロスを解決するための食育実践事業

食品ロス対策の取り組みの一環として、規格外農産物を使用して商品開発を行い、実用化に向けて、嗜好調査や学園祭にて販売する計画でしたが、天候などの問題により、規格外の和梨を提供していただくことができませんでした。そこで、さいたま市の特産品でもある和梨の用途拡大を目的とし、各家庭で簡単に作れる和梨のお菓子（デザート）、お料理およびおつまみの計10品のレシピを考案しました。さらに、栄養価を掲載したレシピ集を作成して、学園祭にて無料配布しました。学園祭では、フードロス対策に関するパネルも作成し、レシピを配布する際に食品ロス対策の普及も行いました。



レシピ紹介パンフレット



学園祭にてフードロス対策の活動発表を行いました

地域に役立つ人材育成プログラム《公開講座》

地域に役立つ人材育成プログラム公開講座は、2021年3月に蓮田市・蓮田市商工会と本学との三者で締結しました、「防災・減災・災害対策等リスクマネジメントの連携協力に関する協定」に基づき開催しています。2023年度より蓮田キャンパスにて来場型の講座を開催しています。2024年度には「地域防災等に役立つ公開講座」を4回行いました。回数を重ねるごとに参加人数が増加し、大変好評でした。



2024年8月24日　第2回「風水害24」



2024年11月10日　第3回「イツモ防災」

2025年度 地域防災等に役立つ公開講座

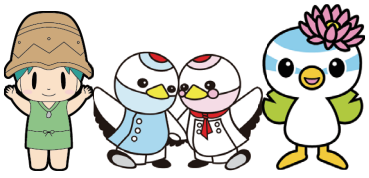
第1回 5/31（土）10：30～12：00
「災害への備えの具体策：自分と大切な人の命をまもるために」
講師：看護学科　講師　牧野 由加里

第2回 7/26（土）10：30～12：00
「被災地支援の看護活動の実際」
講師：看護学科　准教授　吉岡　留美

第3回 10/18（土）10：30～12：00
「災害時の不安対応と心理的応急処」
講師：看護学科　教授　望月　聡一郎

第4回 2026年1/31（土）10：30～12：00
「災害時の避難所体験」
講師：蓮田市　危機管理課

詳細はこちらから



蓮田市商工会　人間総合科学大学　＠蓮田市

※講演テーマ・内容は一部変更となる場合がございます。

心身健康科学科
（通信教育課程）

会場スクーリングの魅力

心身健康科学科(通信教育課程)では、実験・実習の科目などは会場スクーリングで実施されます。今回は他大学にない特徴ある学内外スクーリングの一部をご紹介いたします。直接教員から指導を受けられるだけでなく、学ぶ仲間が集う貴重な交流の場にもなっています。



紅葉を見ながら散策

紅葉の中、楽しく心身健康科学を体験したスクーリングをレポート！

『サイエンスコミュニケーション』

こころとからだのデータサイエンスコースでは、2024年12月4日（水）、埼玉県北本市にある北本自然観察公園にて会場スクーリング授業が行われました。現地で行われている森林セラピーツアーを体験し、その公園内で、生理指標、心理的指標の測定に挑みました。

今回の体験は、森林セラピーが心身相関の視点でどのようなリラックス効果につながるかを科学的に実証実験するための足がかりとなるものです。大学院生と一緒に行う学外での実習は、学生にとって貴重な経験となりました。



枯葉の上で寝てリラックス



脳波を測定

本学は北本市と北本市観光協会と「きたもと森林セラピー事業に関する協定書」を締結しており、知見を生かし、地域活性に貢献しております。



きたもと森林セラピー HP
http://kitamoto-forest-therapy.com/

自立活動指導力アッププログラム

2024年11月下旬、東京サテライトで「**自立活動指導力アッププログラム**」の会場スクーリングが行われました。

今年度初めて開講された自立活動や療育に関する科目です。特別支援教育の現場で長く活躍された先生による確かな知識を学ぶだけでなく、学生たちは自ら体験することで、日常の自立教育の現場で即実践できる技術を修得していきます。「**自立活動指導力アッププログラム**」は、自立活動に関わるすべての先生方にお勧めしたいプログラムとなっています。

2024年 11/23・24（土）（日）

『自立活動の指導の実際入門編』



『自立活動の指導の実際入門編』『新しいうんどう』の一部を実演。ボディイメージをつかむための動作です。

2024年 11/30・12/1（土）（日）

『知的障がいと自立活動の基礎』



『知的障がいと自立活動の基礎』ふたりで協力して隣の組にボールを渡す活動を体験。



先生の現場の体験話に聞き入る受講生





バランスボールを使って体を動かす方法を体験しながら、生徒は何を難しく感じるのかを教わります。

ブログPickUp
心身健康科学科(通信教育課程)

学園祭　Human Festival 2024

2024年10月26日、学園祭Human Festival 2024「医食彩～まるっとゆーはすフェスティバル～」が行われました。心身健康科学科(通信教育課程)として、初めて参加しました。

レモネードスタンドを出店し、自分たちで味を調整した美味しいレモネードを販売しました。また、売上金は、小児がん支援に寄付しました。お客様とのふれあいが良い経験となりました。



出店の様子



星槎国際高等学校大宮校(通信制)のバス見学会が行われました

2024年10月2日、蓮田キャンパスにて、星槎国際高等学校大宮校(通信制)の見学会が行われました。

心身健康科学科(通信教育課程)の大学の説明や、体験授業を行いました。実際に使用する計測機器等を手にし、興味津々の様子でした。また、キャンパスツアーでは大学院の研究所も見学して頂きました。



学科説明を聞く高校生のみなさん

ゴンざれすの通信制大学解説Chコラボ企画がYouTubeにて紹介されました!

2024年8月、人間総合科学大学×ゴンざれすの通信制大学解説Chコラボ企画が行われ、YouTubeにて本学を紹介されました。是非ご覧ください。

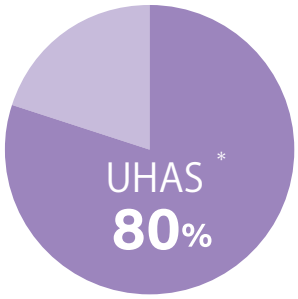


いろんな動画 or コンテンツをアップしてます!

人間総合科学大学 公式YouTube

働きながら、オンライン大学で学びませんか？

目標達成への信頼と安心の実績



■卒業率(令和4年度実績)
＊UHAS:University of Human Arts and Sciencesの頭文字で、人間総合科学大学の略称。

選べます！　詳しくは HP をご覧ください。

- 1 年次入学
- New! 学士申請プログラム
- 3 年次編入学
- New! 自立活動指導力アッププログラム
- New! 4 年次編入学
- 看護教員養成コース

心身健康科学科（通信教育課程）高校新卒向けコースの紹介

高校新卒向けコース

ライフプロモーションコース



(1年次入学)

いのちの運用・たくましい生き方を学ぶ

ストレスに強くなる。自分を知り、よりよく生きられる人になることを目指す方におすすめのコースです。オンライン学修だけで大学を卒業することができます。

第13回学生政策提案フォーラム 優秀賞受賞!

テーマ「誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現」

優秀賞

チーム名：チームUHAS

発表テーマ

「農業を活用した異文化交流プロジェクト」







2024年11月24日（日）、大学コンソーシアムさいたま主催 第13回 学生政策提案フォーラム in さいたまが開催されました。今年度のテーマは、「誰もが自分らしく暮らせる地域共生社会の実現」でした。

本学は、健康栄養学科のチームが、発表テーマ「農業を活用した異文化交流プロジェクト」にて参加し、多くの他大学チームの中から選ばれ、優秀賞を戴きました。

過去の受賞歴

◆2023年第12回学生政策提案フォーラム inさいたま
「最優秀賞」
UHAS食堂：「こども食堂を活用した食生活改善プロジェクト」

◆2022年第11回学生政策提案フォーラム inさいたま
「ダブル優秀賞」
UHAS dining：「子どもの未来を繋ぐ
～あったかサポート～」
チーム uhas：「居酒屋 × 食育
～お通しから見直そう～」

◆2018年第8回学生政策提案フォーラム inさいたま
「最優秀賞」
チーム青志：「彩☆スポ ジュニア栄養サポート制度」

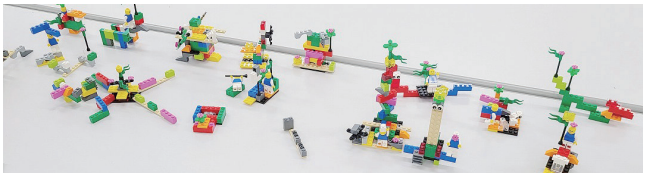
◆2017年第7回学生政策提案フォーラム inさいたま
「優秀賞」
UHAS.com：「埼食健美　健康ダイエット inさいたま」

健康栄養学科3年　「スポーツ栄養学演習」



健康栄養学科「スポーツ栄養学演習」の授業が行われています。仮想のアスリートに献立を作るという設定で、ホームページで調べたり、話し合いながら学んでいます。学生みんなで内容（種目名：バレーボール/ポジション：リベロ/競技の特性：瞬発系（跳躍能力）＋持久力/対象年齢：大学1年生/性別：男子など）を決めていきます。栄養士であっても食事だけでなく競技の内容や練習内容を知ることが大切です。その上で、クライアントとなる栄養サポートの対象者について、解像度を高めていきます。

演習授業では、仮想の身体組成などを設定し、栄養サポートの目標（体重増・減量・筋肉増など）を具体的な数値を決め、さらに、どのようなエネルギーや栄養素摂取量を設定するのか相談していきます。最後に、1日の食事メニュー（3食+補食）案の提案をします。



「あなたがこうありたい未来のスポーツ栄養士とはどのようなスポーツ栄養士ですか?」および「スポーツ栄養にかかわる要素」というテーマで履修者全員で一つの作品を作り上げるという楽しいレゴ作成授業も行われました。

健康栄養学科1年　「コミュニケーション実習Ⅰ」

コミュニケーション実習Ⅰでは、管理栄養士に必要なコミュニケーション能力を養うために様々なグループワークを行っています。授業では、サッカーや、ゲームなどを行い、コミュニケーションがよくとれていた学生にはポイントを付与しました。机上の学びだけでなく、レクリエーションを組み合わせることで、学生たちは主体的に学び、コミュニケーション能力を高め、より豊かな人間関係を築くことができるようになります。学期末には、表彰式を行いました。



表彰式の様子

まご弁　ロングセラー商品となりました

2024年春に企画・開発した「まご弁（減塩弁当）」がロングセラー商品となっています。加須市、株式会社丸武、花咲徳栄高等学校、地域ブロンズ会議、人間総合科学大学が共同で「まご弁（減塩弁当）」を開発し、学生が栄養価の計算を担当しました。完成後は、スーパーまるたけ騎西店で販売されました。

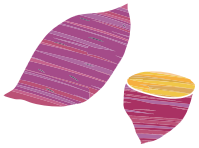
その他、オープンキャンパス、学園祭やイベント等にて販売され、大人気のお弁当となっています。



学園祭にて販売

実習農園のとりくみ

実習農園で収穫した野菜は、「コミュニケーション実習Ⅰ・Ⅱ」「調理学実習Ⅰ・Ⅱ」の授業で活用しています。また、学園祭や職員に販売しています。新鮮で大変好評です。





事務所窓口にて採れたて野菜を販売



学園祭にて販売

メディシェフレシピコンテスト2024

メディシェフグランプリを受賞！





2025年1月29日、静岡県のSHIMIZU CROSS（清水クロス）にて、
メディシェフレシピコンテスト2024が行われました。
コンテストのテーマは、スポーツ飯「試合前の夕食」。
昨年に続き、メディシェフグランプリ（最優秀賞）を受賞しました!
おめでとうございます！

ヘルスフードサイエンス学科2年
長尾 達樹さんと料理長

過去の受賞歴

◆メディシェフレシピコンテスト2023

グランプリ

「まるごとペロリ！
ベリーとキウイのシリアルヨーグルト」
ヘルスフードサイエンス学科
大橋　愛 さん



プロ賞

「ボリューム満点！！里芋の和風グラタン焼き」
ヘルスフードサイエンス学科　吉川　翼さん

◆メディシェフレシピコンテスト2022

準グランプリ

「心も身体も健康に
しちゃうくまさん!!」
ヘルスフードサイエンス学科
田替藤 萌衣 さん



優秀賞

「ユニコーンのもちひやホッペ」
ヘルスフードサイエンス学科　平本 千夏 さん

メディシェフ とは

メディシェフとは一般社団法人日本医食促進協会が認定する医食の新しい専門家を認定する資格です。医療・栄養・調理に関する知識を総合的に学び、健康・予防・疾患に適した職を提供する人材のことを言います。

開発メニュー 実店舗販売

自治体との協働プロジェクト

ヘルスフードサイエンス学科がさいたま商工会議所および、さいたま市内飲食・小売店との産学官連携により「地産地消」をキーワードにメニューの開発を行いました。

埼玉県産の野菜を使用したピザや、プレートランチを開発し、Gelato&Pizza ugo様・ヘルシーカフェ のら様にて期間限定販売しました。



ヘルシーカフェ のら 様



Gelato & Pizza ugo 様



店舗にて手伝いをする学生



NACK5に生出演！

食品学や栄養学を学ぶ学生ならではのアイデアと、地元飲食・小売店2店舗の技術・経験をもとに約6ヵ月の期間を経て共同開発しました。

（Gelato&Pizza ugo様・ヘルシーカフェ のら様）

外部講師による特別授業

ヘルスフードサイエンス学科2年「食品加工応用」

昨年に続き、株式会社明治 崎山様に講義を行って頂きました。カカオ豆の中身のカカオニブを使ってチョコレートを作りました。カカオ豆の産地によって味が違うことも、作って食べて知ることができ、大変貴重な体験授業でした。





カカオ豆から作るチョコレート

ヘルスフードサイエンス学科2年「食品加工応用」

2024年秋、山崎製パン株式会社様による特別講義が行われました。他社製品との違いや生産に至るまでの過程などを講義していただきました。塩分量の異なるパンの味比べ等、楽しい内容でした。



スライドによる製品説明



楽しい食べ比べ！

人間科学部
蓮田キャンパス

先生の研究紹介

先生方は授業の他に研究もされています。
今回は、各学科より代表して
3人の先生方に研究を紹介していただきます。



うちの先生って
何の研究しているのかな？

先生に質問して
みよう！

先生
すごーい！

健康栄養学科

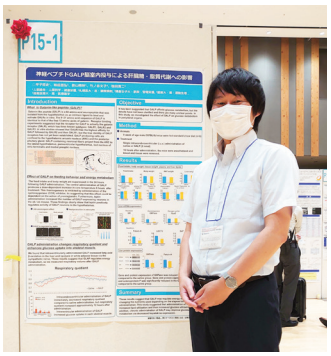


人間科学部
健康栄養学科
准教授

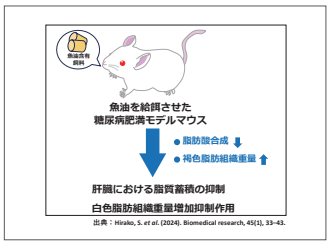
平子　哲史



機能性油脂の抗肥満作用に関する研究



脂質は、炭水化物、たんぱく質とともにエネルギー産生栄養素のひとつです。体に欠かせない栄養素ですが、摂り方によっては体に悪影響を与えることもありますし、脂質の種類によっては、健康に良い作用があることが知られています。我々の研究グループはこのような油脂の機能性に関する研究を行っています。n-3系多価不飽和脂肪酸のエイコサペンタエン酸やドコサヘキサエン酸を多く含む魚油は、血中脂質低下作用や抗肥満作用を持つことが知られています。我々の研究でも様々な条件下でマウスに魚油を摂取させたところ、脂肪肝が改善され、その作用は肝臓での脂肪酸合成を抑制することや脂肪酸分解を亢進することで起こることを明らかにしました[1-3]。一方、ココナッツオイルなどのヤシ科植物の種子に含まれるに含まれている中鎖脂肪酸は、一般的な油よりも速く分解されるため、以前から腎臓病患者や高齢者などに対して臨床の現場でも使用されてきましたが、最近では、様々な栄養生理機能があることがわかってきています。我々は糖尿病肥満モデルマウスを使った実験で、ココナッツオイルを摂取することにより、血糖値が低下することを明らかにしました[4]。



参考文献

1)Hirako S, Kim H, Iizuka Y, & Matsumoto A. (2024). Fish oil consumption prevents hepatic lipid accumulation induced by high-cholesterol feeding in obese KK mice. Biomedical research (Tokyo, Japan), 45(1), 33-43.
2)Iizuka Y, Hirako S, Kim H, Wada N, Ohsaki Y, Yanagisawa N. (2024). Fish oil-derived n-3 polyunsaturated fatty acids downregulate aquaporin 9 protein expression of liver and white adipose tissues in diabetic KK mice and 3T3-L1 adipocytes. The Journal of nutritional biochemistry, 124, 109514.
3)Hirako S, Hirabayashi T, Shibato J, Kimura A, Yamashita M, Iizuka Y, Wada N, Kaibara N, Takenoya F, Shioda S. (2023). Docosapentaenoic acid-rich oil lowers plasma glucose and lipids in a mouse model of diabetes and mild obesity. Nutrition research (New York, N.Y.), 118, 128-136.
4)Iizuka Y, Kitagawa C, Tamura T, Ueshiba H, Hirako S, Osaka T, Kim H, Yanagisawa N. (2024). Dietary coconut oil lowered circulating fetuin-A levels and hepatic expression of fetuin-A in KK/TaJcl mice. Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition.

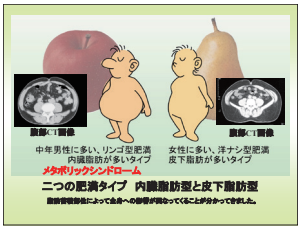
ヘルスフードサイエンス学科

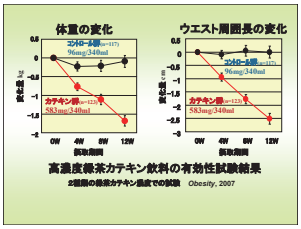


人間科学部
ヘルスフードサイエンス学科
学科長　教授
時光　一郎



商品開発は楽しいぞ！





　私は企業で商品開発の仕事に従事してきました。苦しくも楽しい仕事でしたが、今でも思います。「商品開発は楽しいぞ!」と。私の経験を紹介します。

1, 肥満からメタボリックシンドロームへ
　商品開発で重要なことは社会的課題をいち早くキャッチすることです。私が食品開発を担当した頃は生活習慣病対策が大きな課題でした。肥満研究から生活習慣病の源として内蔵脂肪型肥満が注目され、メタボリックシンドロームという概念が登場しました。

2, 高濃度緑茶カテキンを含む機能性飲料の開発へ
　内蔵脂肪対策として多くの食材を調べました。緑茶カテキンに注目し、苦労しましたがトクホ飲料として商品化することができました。何気なく摂取している食材には大きな力があると教えられました。作用機構の解明で多くの論文を発表することができました。[1)-4)]

3, 「こころ」と「からだ」の健康へ
　様々な努力にも関わらず、メタボリックシンドロームは減っていません。新しいアプローチとして、「こころ」に着目することが重要だと考えます。今後は「こころ」と「からだ」を考えた商品作りが求められるでしょう。当学科の目指す「美味しい健康食」です。現在は楽しい食を基本においた食品開発の方法を探索しています。

参考文献
1)T. Nagao, T. Hase and I. Tokimitsu. “A green tea extracts high in catechins reduces body fat and cardiovascular risks in humans” Obesity, 15 (2007), 1473-1483
2)Onishi S, Ishino M, Kitazawa H, Yoto A, Shimba Y, Mochizuki Y, Unno K, Meguro S, Tokimitsu I and Miura S. “Green tea extracts ameliorate high-fat diet-induced muscle atrophy in senescence-accelerated mouse prone-8 mice” PLoS One;13(4):e0195753.2018
3)Onishi S, Kitazawa H, Meguro S and Tokimitsu I. “Green tea extracts reduce leukocyte cell-Derived chemotaxin 2 and selenoprotein P levels in the livers of C57BL/6J mice fed a high-fat diet” Biosci Biotechnol Biochem;82(9):1568-1575.2018
4)Onishi S, Meguro S, Pervin M, Kitazawa H, Yoto A, Ishino M, Shimba Y, Mochizuki Y, Miura S, Tokimitsu I and Unno K. “Green Tea Extracts Attenuate Brain Dysfunction in High-Fat-Diet-Fed SAMP8 Mice” Nutrients;11(4). pii: 821.2019

心身健康科学科



人間科学部
心身健康科学科
教授
鍵谷　方子

新茶の香りと心身健康科学　「華蓮だより」抜粋



　5月は新茶の香りを楽しむのに一番適した季節といいますが、皆様も楽しまれましたか?お仕事やご家庭のこと、そして学業と、大変多忙な毎日をお過ごしのことと拝察しておりますが、短時間でも、お茶の香りを楽しむような、ほっとするひとときを持てるといいですね。
　最近私は共同研究者と一緒に、脳の奥の方にある前脳基底部というところから大脳新皮質や海馬や嗅球などに投射するコリン作動性神経系の働きと嗅覚の関係について調べる研究をテーマの1つとして進めています。この神経系は、認知機能に重要な役割を担っており、アルツハイマー型認知症に関連していることが知られています。香りを嗅ぐことが認知機能へ及ぼす効果をこの神経系を介した側面から研究することを通して、超高齢社会において「よりよく生きる知恵」の創出につなげたいと思っております。
　最近、香りを嗅ぐトレーニングが注目されてきており、高齢者の認知機能維持に有用なことを示す報告が複数なされていますので、学生の皆様の中にも、既に興味をお持ちの方もおられるかもしれませんね。
　嗅覚は、環境のにおいを検知し、生体に有害か無害かを区別する機能であり、個体の生命維持に不可欠な機能です。ヒトでは動物に比べ嗅覚が低いことが知られています。環境中の匂い物質を受容する嗅覚受容体の遺伝子の数でみても、マウスでは約1,300個で、そのうち約1,100個が機能していますが、ヒトでは約1,000個のうち約350個しか(?)機能していないようです[1)]。
　しかし、一方でヒトは、花や食べ物の香りなどに対しては、マウスよりはるかに豊かな嗅覚世界を持っていることが指摘されています[1)]。草花の香りを活用したり、食事の際に香りを楽しむことは、ヒトの進化の歴史の観点からも重要な可能性があるようです。嗅覚について学際的・統合的な心身健康科学の視点で探求してみると、興味深いテーマになりそうですね。

参考文献
1）Gordon M Shepherd. The human sense of smell: are we better than we think? PLoS Biol. 2004; 2(5): E146.

News!

令和8年4月 心身健康科学科に通学課程を新設（仮称・認可申請中）

人間科学部では、通学課程の心身健康科学科の新設を構想中です。
こころとからだの健康を科学的に分析する力を身につけ、ヘルスケア分野や保健医療分野で活躍することを目指します。

入学定員 40名

1 「こころ」「からだ」「環境・社会」から「ひと」を総合的に捉える教育アプローチ

真の人間理解を基盤に、人々の健康と幸せをテーマとした「ウェルビーイング（よりよく生きる・多様な幸せ）」な社会の実現に貢献する力を養います。

2 AI・ビッグデータを活用した次世代型健康科学の実践

AIやデータサイエンスの技術で個人と社会の健康課題に取り組みます。スタジオでは、VRやウェアラブル端末に触れ、健康情報の収集方法などを修得します。

3 少人数授業や学外での調査実習を通して、社会で役立つ力を身につける

心理系・情報系の資格取得を目指しながら、実践的に学び、医療、ヘルスケア、IT、公共機関などで活躍する人材を育成します。

目指せる資格

- 認定心理士
- 心身健康アドバイザー
- 健康管理士
- データサイエンティスト検定
- DX検定
- 社会調査士
- 統計検定
- ITパスポート（国家資格）
- 基本情報技術者（国家資格）

※内容は変更になる場合があります。

2025年 OPEN CAMPUS

お申込はこちらから

わかりやすい学科説明や楽しい模擬授業、先輩が案内してくれるキャンパスツアーなど
盛りだくさんのイベントです！　個別相談ブースもあります。

蓮田キャンパス
【人間科学部】
健康栄養学科
ヘルスフードサイエンス学科
心身健康科学科（通学課程）認可申請中

岩槻キャンパス
【保健医療学部】
看護学科
リハビリテーション学科
（理学療法学専攻・義肢装具学専攻）

楽しい模擬授業があるよ！

開催時間 10:00 ～ 12:00
（蓮田キャンパス受付 9:30～）
（岩槻キャンパス受付 9:15～）

内　容
- 大学、学科紹介　・入試説明　・模擬授業
- 入試奨学金個別相談　・教員、学生による個別相談
- キャンパスツアー など

Let's go!

4/27（日）　5/11（日）　5/25（日）★🏥　6/8（日）★　6/22（日）★🏥
7/13（日）　7/21（祝）　8/9（土）　8/24（日）　9/21（日）
2026年 3/22（日）

★：ランチ付き！
🏥：病院奨学生対象病院ブース参加日

蓮田キャンパス
- 蓮田駅より送迎バス運行（夏休み期間 7/21・8/9・8/24 のみ）
- 保護者同伴に限り、車での来場OK！

岩槻キャンパス
- 岩槻駅より送迎バス運行（全日程）
- 駐車場はありませんので公共交通機関でお越しください。

※送迎バスの詳細は HPお知らせをご覧ください。

平日放課後個別キャンパス見学・入試相談会
5/12（月）～ 7/18（金）
平日 16:00 ～ 18:00 の内 1時間程度
※事前予約制

夏の個別キャンパス見学・入試相談会
7/22（火）～ 8/29（金）
平日 9:00 ～ 17:00 の内　1時間程度
※事前予約制

進路説明会
11/1（土）岩槻・2（日）蓮田　学園祭同時開催　11/23（日・祝）
2026年 2/22（日）・23（月・祝）　岩槻ひなまつり同時開催

※詳細はHPお知らせをご覧ください。

人間総合科学大学

■人間科学部
健康栄養学科
ヘルスフードサイエンス学科
心身健康科学科（通信教育課程）

■保健医療学部
看護学科
リハビリテーション学科　理学療法学専攻
リハビリテーション学科　義肢装具学専攻

■お問い合わせ
アドミッションセンター
〒339-8539
埼玉県さいたま市岩槻区馬込 1288
TEL：048-749-6111　FAX：048-749-6110
E-mail：admin@human.ac.jp